

ふじがわ

6 月号 昭和61年6月5日発行 No.299

町のメモ

昭和61年6月1日現在	
人口	16,917人
増減	+25人
男	8,342人
女	8,575人
世帯数	4,413世帯
面積	31.09km ²

富士川町 総務課



もちつきで
心はひとつ

「ことしの目標
健康な心とからだに住みよい町に」

おもな内容

- 2～3ページ 常葉雅文町長三期目の抱負
野田山健康緑地公園完成、
町商工会長に望月貞彦氏が
- 4～5 一幼PTA主催「テレビ寺
子屋」収録
- 6～7 社会教育あれこれ、町の昔
ばなし伝説
- 8 戸籍の窓、一里塚、お母さ
んの知恵袋、短歌会

5月25日(日)、八幡町6班(佐野忠弘班長・29世帯)が、ハイキングをかねたレクリエーション大会(望月章夫実行委員長)を、はたご池で行いました。

この大会は、レクリエーションを通して各家庭間の親睦を深め、住みよい班づくりを進めることを目的として行われ、今年で10回目を迎えました。

当日参加した子どもからお年寄りまで約80人は、もちつき、宝さがし、バーベキューなどを行い、楽しい一日を過ごしました。

和の町政をめざし 健康と文化のまちづくりの 実現へ

5月18日に行われる予定でした富士川町長選挙は、5月13日に立候補届を締切った結果、立候補者は常葉雅文(現町長)が、一人であったため、無投票当選となりました。そこで、第二十七代町長に選ばれた常葉町長に、三期目の抱負を語ってもらいました。



富士川町長 常葉雅文

私は町民のみなさんの力強いご支援のもと二期八年間、和の町政をめざし、第一次総合計画にもとづく地域医療の中核となる「共立蒲原総合病院」、町の活性化の要因ともなる「県営中野台団地」、自然とふれあいのなかでの健康づくり「野田山健康緑地公園」、文化の殿堂「中央公民館」等の諸事業を行い、二十一世紀を展望した町の活性化のために努力してまいりました。私は、再度これからの町政を運営するにあたり、これまでの経験を生かしながら新たな発想を基盤として『和の町政をめざし・健康と文化のまちづくり』の実現へ向って、次の施策を積極的に推進していきます。

○町行政の改革と財政の健全化
多様化する行政需要にはムリ、ムラ、ムダを少なくし、自主財源の確保に努めると共に、行政コストを下げながら、しかもサービスを低下させないよう健全な行政運営に努力します。

○教育の充実と文化の振興
将来を展望したとき教育に課せられた期待と使命は大きいものがあります。国においては臨教審での審議も行われておりますが、当町においては、町民憲

章にうたわれている町民像の具現化や、豊かな人間性を育てる教育を推進すると共に、集る、学ぶ、ふれあう場所としての中央公民館を中心とした学習・文化活動の推進等、総合的な教育基盤の確立を更に促進します。

○都市整備事業の推進
緑豊かな自然環境との融合を図りながら都市整備事業については、将来を見通した計画のもとに、町民のみなさんをはじめ関係者のご理解とご協力により積極的に推進できるよう努力します。

○スポーツ・健康・福祉施策の充実
町民のみなさんが心身ともに健康で、老若男女を問わずスポーツを通じて人と人との連帯を図り、明るい地域社会を築くのが私の念願であります。更に、高齢化の問題はさけて通ることのできない課題であります。ただ単に言葉の表現にとどまることのないよう心ふれあう福祉の創造に力を注ぎ努力をします。

○産業の振興
現実をみつめ、将来を展望し、産業基盤整備と地場産業の活性化を関係者と共々積極的に推進していきます。

この五つの施策の具体的な事業として――

- 一、駅前再開
 - 一、総合体育館の建設
 - 一、新富士川橋の建設
 - 一、富士川身延線バイパスの完成
 - 一、中之郷農免農道の開設
 - 一、小車の里公園(松野)の整備
 - 一、第二中学校特別教室建設
- であります。
- これらの諸施策・事業を遂行していくうえで、町民のみなさんほもちろん、多くの方々のご理解とご協力を得ていかなければなりません。
- 私も、初心にかえり、新たな決意をいたしました。



小野日央町選管委員長(左)から常葉町長に当選証書が

自然とふれあう場 野田山健康緑地公園が完成

富士川町保健休養林造成事業として、昭和57年から総事業費一億九百七十万円で整備を進めてきた「野田山健康緑地公園」が3月末完成し、町制施行八十五周年記念事業の一環として5月29日(木)同公園の大師広場で、常葉雅文町長、佐野喜平議長、県関係者、工事関係者など約百人が出席し、竣工式が盛大に行われました。

この公園は、野田山の緑豊かな自然環境を生かし、みなさんの憩いの場や野外レクリエーションの場として整備を進めてきたもので、百二万平方メートルの広さです。

敷地内には、大師・金丸・万葉・展望台の四つの広場があり、それぞれの広場では、子どもからお年寄りまでが、いっしょになって楽しめる施設が設置されていますので、家族連れのハイキングなどで、ぜひ訪れてください。



金丸山広場展望台から岳南地帯を望む

金丸山広場 (16,800m²)

この広場は、キャンプやバーベキュー施設のほか展望台・東屋・便所・芝生広場があり、家族連れや団体の野外活動に最適です。また、広場からの富士山・富士川・岳南地帯・伊豆半島・駿河湾・三保の松原を望む四季の眺望はすばらしく、利用者の目を楽ませてください。



テีブカットする左から西山俊夫中部農林事務所長・常葉町長・岩村越司中部振興センター所長



大師広場人造池

大師広場 (9,400m²)

この広場は、多目的利用の芝生広場で、東屋・便所・給水設備・アスレチックエリア・人造池が設置されています。人造池では5月中旬頃から綿菓子のようなモリアオガエルの卵塊が見られます。また、アスレチックエリアの7基の丸太遊具は、子どもたちに大変人気があります。

公園までの道のり

- 四十九コース
富士川駅から約3km (徒歩約1時間)
- 川坂山コース
富士川駅から約6km (徒歩約2時間・車約20分)
- 吉津コース
富士川駅から約6km (徒歩約2時間・車約20分)
- 松野コース
南松野バス停から約6km (徒歩約2時間・車約20分)

町商工会長に 望月貞彦氏が就任

町商工会の「第二十六回総会」が、5月22日商工会館で開催され、昨年度の収支決算書承認などが行われた後、今年度の事業計画決定や役員選任が行われ、昭和38年から長年に亘り会長を務められた齊藤久男氏の後任として、望月貞彦氏が新会長に就任しました。

同会は望月会長を中心として、会員の金融・税務・経営・経理などの相談指導や斡旋、倒産防止相談室の新設、商品券の発行事業など、商工業の振興発展のために活発な活動を展開していきます。

商工会役員

(敬称略)

◇ 会長 望月 貞彦 (坂下)

◇ 副会長 望月 勝年 (清水町)

◇ 〃 尾崎 初男 (東町一)

◇ 理事 〃 芦沢 妙敏 (本通一) ○ 石川 武雄 (坂下町) ○ 小永井一雄 (本通三) ○ 望月 克己 (上町) ○ 望月 貢 (本通一) ○ 小沢 弘 (本通二) ○ 齊藤伊杵雄 (本通三) ○ 井出稔 (南町二) ○ 若月 伸元 (堺町) ○ 多芸 仁 (小山) ○ 中川晴二 (小池) ○ 佐野昇 (富士見町) ○ 太田芳雄 (旭町) ○ 神戸 八郎 (清水町) ○ 滝 悦雄 (坂下) ○ 大高 輝夫 (宮町) ○ 芦川千賀子 (坂下)

◇ 監事 〃 芦川 光広 (坂下) ○ 小泉 章 (南町二)

第一幼稚園PTAが主催 テレビ寺子屋の収録を

5月21日(水)中央公民館多目的室で、児童文化研究家の吉岡たすく先生を講師に招き、テレビ静岡「テレビ寺子屋」の録画が行われました。

この録画は、町立第一幼稚園PTA(吉田正伸会長・会員百十八人)が、町内の幼小PTAの協力を得て開催したもので、約二百七十人のお母さんが出席しました。

当日、吉岡先生は、長い教師生活の体験の中から楽しかった子どもの話や外国のサルとカメのたとえ話をソフトな口調で話され、録画のあい間には「お母さんや先生は、あかるくあったかい気持ちで、また、お母さんはちよつぱりぬけていることが大切です」とユーモアを交え話していました。



収録中テレビ寺子屋

当日の録画内容は、6月15・22日(日)の両日、午前9時から30分間テレビ静岡で放映される予定です。みなさんご覧ください。

老人クラブ連合会が 共立蒲原総合病院で 奉仕作業を

町老人クラブ連合会(川村清会長・会員一千二百八十人)の中之郷地区会員百六人が、5月15日(水)、共立蒲原総合病院の草取りや植木の手入れなどの奉仕作業を行いました。

この作業は、日ごろ健康管理で世話になっている病院に少しでも恩返しできればと、昨年からは行っているもので、今後、7月から8月ごろには岩淵・木島地区・秋には松野地区の会員が訪ずれ行われる予定です。



奉仕作業風景

町の

わだ

富士川地区・松野地区 子ども会球技大会が盛大に

富士川地区・松野地区の子ども会球技大会が、男子ソフトボール、女子バレーボール種目で5月11・18日の両日盛大に行われました。

11日、河川敷スポーツ広場や町立社会体育館で行われた富士川地区大会には、それぞれ十九チームが出場し、(男子ソフトボール準決



(富士川地区)



(松野地区)

8日由比町で行われる予定の郡大会への出場権を獲得しました。大会結果は次のとおりです。

富士川地区子ども会球技大会

- 男子ソフトボールの部
 - 優勝 本通りチーム
 - 二位 木島チーム
 - 三位 上町チーム
- 〃 新町四十九Aチーム

- 女子バレーボールの部
 - 優勝 上町チーム
 - 二位 坂下チーム
 - 三位 東町Aチーム
- 〃 相生町Bチーム

松野地区子ども会球技大会

- 男子ソフトボールの部
 - 優勝 八幡町チーム
 - 二位 大北町チーム
 - 三位 南町一区チーム
- 女子バレーボールの部
 - 優勝 南町二区チーム
 - 二位 南町一区チーム
 - 三位 富士見町チーム
- 〃 八幡町チーム

熱戦がくりひろげられた球技大会

あなたを訪問したらよろしく 新しい広報モニターです

「住民参加のもっと親しみやすい広報紙」作りをめざして、町民のみなさんを直接訪問し、また、みなさんの声を代表する新モニターが決まりましたので、その横顔を紹介します。

深沢のり子・近藤育子さんには、今年度も継続してモニターをお願いしました。



深沢のり子さん (35) (南町二)



深沢ひろ子さん (29) (清水町)

昨年続き、今年もモニターをやらせていただくことになりました。みなさんに、より親しんでいただける広報紙をめざして、微力ながら手伝いさせていただきます。よろしくお願いいたします。よろしくお願いします。



宮沢美登里さん (44) (室野)



渡辺三枝子さん (34) (相生町)

広報モニターをお引き受けしたことを機会に、もっと町の内外のできごとに目を向け勉強しながら、みなさんの身近にある広報活動のお手伝いできれば幸いに思います。



近藤育子さん (37) (堺町)



青木道子さん (38) (堺町)

モニターの役目を終え、ホッとしたのもつかの間、本年度も新しい方々と一緒に活動が続けることになりました。心機一転してがんばりたいと思いますので、よろしく願います。

風岡・中川・常盤さんが 県政モニターに

5月15日(水)、静岡市の県総合庁舎で「第一回県政モニター懇談会」が開かれ、町長から推せんされた風岡・中川・常盤さん



風岡 肇さん (64) (俣下町)



中川晴二さん (49) (小池)



常盤君子さん (36) (木島)

このモニターは昭和59年度から設置されており、静岡県が開かれた県政を進めるために行っている知事広聴の一環で、県民として自由な立場から県政についての地域の問題や課題を積極的にのべてもらい、県民の生活に密着したきめ細かい県政を推進していくことを目的としています。

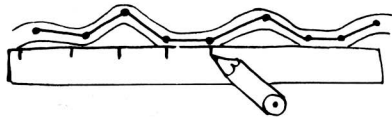
三人のみなさんは、今後二年間、町民の代表として、直接県知事に意見をのべていきますので、みなさんの身の回りや問題や話題になっていることがありましたら意見を寄せてください。

親子で挑戦!

野外生活の知恵 サバイバル入門

曲線のはかり方

紙きれを地図のルートにそって当て、直線部ごとに印をつけ、地図についているスケールに当てればはかれる。



音ではかる

音は、空気中で1秒間に約340メートル伝わるよ。まず、見通しの良い所で、たとえば鐘つきなど対象となる物の動きを見る。そこから音が聞こえるまでの秒数をはかれば距離がでる。2秒かかれば680メートルといったぐあいだ。



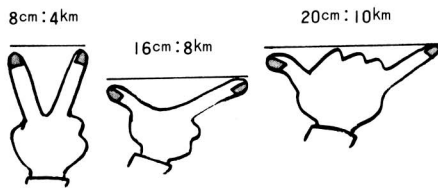
地図で高さをはかる

5万分の1の地図では、20メートルごとに等高線が引かれ、100メートルごとに太い線になっている。だから高さの表示がない地点でも、近くの等高線を目安にすればわかる。



指ではかる

大人の指の開きぐあいで、5万分の1の地図の距離がだいたいわかる。覚えておくと便利だよ。



距離をはかる

社会教育あれこれ

少年期の自然体験

千メートル以上の山に登ったことがない。自分の身長以上の木に登ったことがない。日の出を見たことがない。野山で、木の実や野草を食べたことがない。これは、最近の子どもの自然体験のないほんの一例である。たしかに我々の年代が少年期に過ごした頃に比べると自然環境は大きく変化してきた。川で遊び、野山を駆けめぐった我々は、そこで様々な体験をし、また貴重なものを学びとったのである。

この富士川の地は野田山をはじめとする緑豊かな山々を背に、前に富士川を、遠くに駿河湾、伊豆半島を望み、また、秀峰富士を見ることができるとは、自然環境に恵まれているのであるが、残念ながら小川に子ども達の姿を見ることがあまりない。いつか子ども達はどこへ行き、何を遊んでいるのだろうか。子ども達にとつて野山や小川はそんなに魅力のないものになってしまったのだろうか。

偉大な教師なり。言葉通り、自然は我々に幾多の恩恵を与え続けてくれている。無形の影響を及ぼし、知恵を授けてくれたのである。これらは生活体験の中から体で覚え、受け継がれてきたのである。偉大な科学者達の少年期における自然体験の中で得た観察力、探究心、洞察力などが後の大成にどれほどの力になったかと言ってしまう。

少年期に自然体験がなくても子どもは立派に育つとか、この受験時代に自然体験など何の役にも立たぬという異論もあろうが、そう考える今の親達が毎日のくらしにかつての体験が様々な形でいい意味で影響を与えているかを考え合わせてみると、たかが自然体験といえないようにも思えるのである。まだまだ自然は豊かであり、我々を待っていてくれる。



家族で話し合おう 交通安全 家族で話し合おう 交通安全

バイクを運転中に交通事故で死亡した人の六四・五割は頭や顔を強く打って死亡しています。このことから、ヘルメットをかぶらないことがどんなに恐ろしいことかわかります。また、7月5日からは、ミニバイク(排気量50ccバイク)に乗るときもヘルメットの着用が義務付けられています。

①あみだにかぶったり、目深にかぶらない。視野が狭くなり、危険なものが見え遅れます。②あごひもは必ず、しっかりと締める。あごひもを締めていないと、事故のときへ

5月の交通事故

Table with 4 columns: 人身事故 (6件), 物損事故 (3件), 富士川身延線 (2件), 国道一号线 (4件), 町道 (3件), 県道 (0件), その他 (0件). Total 9 accidents.



町の昔ばなし伝説 (十) 萩殿屋敷

今から六百年位前のことです。北松野に萩次郎左衛門尉氏嘗という人の館がありました。この館のあった場所は、北松野が一目で見渡せる場所、西及び南は山地となり、東は無瀬川の岸に接した要衝の地で、またここを中心に四方に道路が通じており、豪族の館には最適の土地でした。

館は約一町(約百坪)四方で、石垣に囲まれ、東側に表門、北に裏門がありました。石垣の上には竹が植えられ、中央に臥牛石(牛がふせたような形の石)、北西の隅に竹添稲荷社、南西の隅にも稲荷社を祀り、また表門前に曲り松、東北の隅に楓、玉の木などがあり、松野の支配者としての館にふさわしいものでした。氏嘗は將軍足利義満に仕えていたので、京都に住んでいましたが、のちに自分の領地であった松野に来て館を構えました。氏嘗は京都に居たときから熱心な日蓮信者で、と

初代氏嘗については、その出所が紀州武田の一族である以外、当地に土着した経過の詳細は不明です。

戸籍の窓

S 61・4・15〜5・14届出分

(敬称略)

おめでた

宮町	浅場克則	満雄	二男
〃	宇佐美麻衣	務	長女
〃	土橋 司	克博	長男
小池	田中里奈	芳秀	二女
〃	加藤涼一	憲正	長男
東町二	吉野かおり	孝志	長女
〃	遠藤元美	隆史	三女
八幡町	富士松野	良貴	長女
〃	高原美純	良貴	長女
清水町	宇佐美大介	昇	長男
四十九町	吉満貴一	勝比古	長男
〃	勝比古	長男	長女

かなしみ

木島	芦川芳光	五七
旭町	平岩つぎ	七〇
〃	望月謹吾	八二
新町本町	益木桑太郎	五一
宮町	望野百合子	七三
小池	井上光昭	五六
東町一	星野森三	五一
八幡町	稲葉もと	八四
清水町	神戸なつ子	七五
俣下町	鈴木晴子	六二

お母さんの

知恵袋

最近、さまざまの食品が冷凍保存されています。昔は冷凍といつても、零度より少し低いぐらいの温度でゆっくり冷結させたので、食品の風味はそこないがちでした。現在の冷凍食品は、マイナス三十度ぐらいの低温で凍結するために、生ものとはほとんど変わりません。

冷凍食品は、一旦解凍したら生物と同じに扱ってすぐ食べてしまうこと。再冷凍や再々冷凍は、食品をますますする最大の原因です。市場の魚類も丸ごと冷凍して、ゆっくり解凍したものが一番おいしく、小さく切つてから袋づめにして再冷凍の物は味が落ちます。

解凍には二つの方法があります。自然解凍：魚や肉はできるだけ低温で時間をかけて解凍する。冷蔵庫内が最もよく、涼しい所でもよい。急ぐ時はポリ袋に入れ、水かぬるま湯につける。

急速解凍：野菜や調理済みの食品は凍ったまますぐ加熱する。例えば、三色野菜などは熱湯につける。ギョーザは蒸し器で蒸す。揚げる場合の油の温度を低くする。

富士川短歌会

五月詠草 (天野寛選)

本通四 高橋 勝治

泉さん百二十才生のびて残る人々たたへて送る

四十九町 辻 すみじ

五月晴もゆるもみじの傍に松の新芽をつみつ居たり

富士市 長橋 安子

黄みどりに楠の若葉の出そろへば去年の古葉の絶間なく落つ

小池 佐藤 ちよ

人気なき朝の団地の公園に藤の花房風にゆれ居り

相生町 長谷川ゆり子

摘みし茶をかごに背負いて下る山葉桜を吹く風やわらかし

四十九町 塩川 恒子

束の間の日和の今朝は茶を摘むと八十の母我を急がす

新町本町 深沢千代子

光悦寺わびたる庭のたたずまい臥牛垣背にシャツターをきる

上 町 望月 晴子

桜切られ園舎毀たれし保育園跡雨にぬれつつ静かとなりぬ

小池 土橋 節子

草むらに去年落せし砥石あり土をはらいて又といでみる

四十九町 入月 弘子

花の雨二日続けばブナの芽は天辺より萌ゆ古葉散らして

一里塚



私自身は、口の重い方で、タイミングよく言葉が出てこない、あの時にはこう言えば良かった等と反省しきりである。

そのためか、小説や雑誌等の中から気のきいたセリフを探るのが好きで、例えば、夏目漱石が西園寺公望の招きを断わった時『ほととぎす厠なかばで出かねたり』と詠んだり、ニクソン元米大統領が『神が世界を六日で作れたのは、労働組合がなかったからだ』と嘆いてみたり、その言葉に、その人となり

俣下町

俣下町 神戸恭子 陽臣 長女

脱男性の時代などと揶揄される今、私は、ヘミングウェイのような生き方が理想的な男の生に方のように思える。『まず、生きぬかなければならない』と

わないが、やりたい事をやり、完全燃焼して一生を終えた彼のようになりたいと思っている。(K・U)

町への寄付金 (敬称略)

S 61・4・8 5 5・7

二万三千九百八十八円

文化事業振興へ

AEC代表

吉田 正伸 (新町)

三十万円

社会福祉事業へ

池谷 秀雄 (坂下)

善意銀行へ寄託 (敬称略)

S 61・5・15

二万円 稲葉 武 (八幡町)